

# 無題（七）

宮本百合子

青空文庫



時砲の玉みたいな製鉄炭酸瓦斯管が立つて居る。水色エナメルの変圧器の上に日光がさした。その日光は窓枠の上に雑然と置かれたシクラメンの葉ばかりの鉢や、酸づけ玉菜<sup>タケ</sup>の瓶をも照して居る。エミール・ヤニングスが世界的映画「ワリエテ」の中で、食卓から立つてしまふと同じプロレタリアの水道栓が壁にあつた。わきに幾枚も古びた外套が重ねてかけてある。外套の下に上靴<sup>ガローリ</sup>と防寒靴<sup>ワーレンキ</sup>が三足かためてあつた。窓から二米はなれて湯槽があつた。黒い髪だけが湯槽の外へ見えた

この間こんな絵を見た。やつぱり今ここに在る通り湯槽から頭だけが見えて居る。これは禿げた爺の口チョー部だつたが、戸が一寸すいて八つの眼玉がその禿をのぞいた。——いつ出るんだろう、あの爺さん——第二図は、湯槽の横断面で、驚くながれ爺さんは湯槽で風呂をつかつて居るのではなかつた、彼はそこで生活して居るのだ。勿論着物のまま爺さんは膝をたてて湯槽によりかかり本をよんで居る。彼のちぢめたどた靴の先には、レーニンも照覧あれ！モスクワ文化象徴である石油<sup>ブリ</sup>コ<sup>ム</sup>ロ、薬カソ、人別手帖で買つたところの貴重なパンの塊、ソーセージ、——つましき人生の全必需品がもち込まれて居るのだ。

この湯槽には、だが幸三十四度の温湯がたたえられてある。黒い東洋の髪をぬらしつつ漬つて居るのは自分だ。湯槽の内にも日光は燐いた。時々、地下室の実験用犬の鳴く声が聞えた。

肝臓のために一週二度ずつ沐浴が出来る。何と楽しい課目！

生れて始めて凹んへっこですき間の出来た股を湯のなかで自分は愛撫した。

壁際の黒皮ばかり長椅子に二十歳のターニヤが脚をひろげてかけて居る。白い上被りの中で彼女は若々しい赧ら顔と金髪と大きな腹をもつた綿細工人形みたいだ。

ターニヤは妊娠八カ月だ。午後四時まで第一大学附属内科の婦人部で働いた。夜はラブ・ファクへ通つてダルトンプランの教育を受けた。一間に一間半もある大ペチカのある病院の台所の隅で ターニヤは代数の方程式を書くのだ。

——お湯ぬるくありませんか

——丁度いい

一寸黙つて居たがターニヤは愉しそうに伸びをして、両腕を頭の後に組み乍ら云つた  
——もうじき私、休みを貰う

——いつ？

——明日お医者のところへ行つて診て貰つてね、今週のうちに貰えるでしょう  
——私の方がのこつちやつたわね

——ニチエヴォー、直きよくなりますよ、

分娩までに二ヶ月、分娩後二ヶ月の休暇を〔約三字分空白〕留の援助金とともに貰うのだ。

ターニヤは石鹼の泡だらけのスponジで私の背中をこすりつつ、又云つた。

——何て往来が暖かくなつたんだろう！ これからは私散歩、散歩！

彼女のようにこびが溢れて 私を包んだ。

——いいわね ターニヤ、よく散歩して赧い赧い顔をした赤ちゃんを早くお生みよ

——私子供がそりやすきなんです

それはターニヤが、腹の重さで心地足を引するようにし乍ら、歩いて居る様子でよくわかつた。

二十歳の、親なしの雑使婦のターニヤの白い上被を着た身のまわりには腹の児に対する愛とともに深い生活の安心が輝やいて居た。

天氣の晴れたり曇つたりにまで、草のように気分を影響される病人で満ちた空間をよこ

ぎつて、ターニヤの重い腹と金髪が動くと、そこには美さえあつた。СССРの新社会制度が此世にもたらしたよき人間的美の一つとして、自分はそれを感じるのであつた。

——赤ちゃんが生れてもラブ・ファクつづけるの

——もう一つ部屋を貰えればつづけられるんです 知り合の女の子に来て貰つてね

ターニヤは、

——男の子が生れるといい

と云つた。

——ソヴェトロシアでは 男も女も同じじゃないの

——それでも男の子の方が人生を楽にすごせる、例えば私の行つて居るラブ・ファクで二十何人かの中（テーブシュカ）に女は私一人です。私の知つてる女で始めは一緒に行つてたのに やっぱり家のことや何かでやめてしまつたのが幾人もある、

——ちゃんと四年をしまうのは 何%位ある

——たつた二十五%

——ルナチャルスキーがラブ・ファクを終つた青年は最も賞讃さるべき勇士だと云つた

これは本当。三十五留ループル貰い 〇六〇ダが二十八カペイカ哥 それがつらいのもある。





# 青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集 第十八巻」新日本出版社

1981（昭和56）年5月30日初版発行

1986（昭和61）年3月20日第2版第1刷発行

初出：同上

入力：柴田卓治

校正：磐余彥

2004年2月15日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたつたのは、ボランティアの皆さんです。

# 無題（七）

## 宮本百合子

2020年 7月17日 初版

### 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>